

平成22年国民生活基礎調査(世帯票) 新旧対照表(案)

平成22年(案)	平成19年	変更理由
I 世帯の状況		
(変更) (I 質問1)(I 補問1-1) 質問1 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にされている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。 (一時的に不在の方を含みます。) 人 1人(単独世帯)の場合は、補問1-1にもお答えください。 補問1-1 1人(単独世帯)の方の場合は、その状況についてお答えください。 【単独世帯の状況】 1 住込み、寄宿舎等に居住する単独世帯 2 その他の単独世帯 【単身赴任か否か】 1 単身赴任者である 2 単身赴任者でない (変更) (I 質問2) 質問2 単身赴任などで同居していない方の有無について、あてはまるすべての番号に○をつけ、それぞれの人数を記入してください。 1 単身赴任で世帯を離れている者がいる 2 学業のため世帯を離れている者がいる 3 老人福祉施設に入所している者がいる 4 社会福祉施設(老人福祉施設を除く。)に入所している者がいる 5 病院に長期入院している(住民登録を病院に移している。)者がいる 6 1～5の者はいない 人 人 人 人 人 人 ※ 1～5に該当する方は、この調査の世帯員とはなりませんので、質問1の人数には含めないでください。 質問1 世帯員数 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にされている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。 (一時的に不在の方を含みます。) 人 世帯員数が1人(単独世帯)である場合は、次の質問にもお答えください。 質問1-1 単独世帯の状況 あてはまる番号に○をつけてください。 1 住込み、寄宿舎等に居住する単独世帯 2 その他の単独世帯 (単身赴任か否か) 1 単身赴任者である 2 単身赴任者でない 質問の調査事項名は削除し、設問を変更する。 (質問1)補問1-1の記入対象がわかりやすいように「1人(単独世帯)の場合～」の説明は枠の外に記載し、下線で示して誘導する。 (補問1-1)記入者がわかりやすいように事項ごとに枠を分割する。		
質問2 同居していない方の状況 単身赴任などで同居していない方がいる場合は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 1 単身赴任で世帯を離れている者がいる 2 学業のため世帯を離れている者がいる 3 老人福祉施設に入所している者がいる 4 社会福祉施設(老人福祉施設を除く。)に入所している者がいる 5 病院に長期入院している者がいる (住民登録も病院に移している場合のみ) 6 1から5の者はいない 世帯に同居していない者の人数を把握するため各選択肢に人数の記入欄を設ける。 選択肢「5」の区分名については、()書きの内容がわかりやすいように、「病院に入所している」の直後に変更する。 本質問の1～5の該当者は調査対象外である旨の注意書きを追加する		